

設楽ダムの建設中止を求める会

第38号 2015年4月20日

<http://www.nodam.org/>

第9回定期総会を開催します。

と き：2015年6月21日（日） 13:30～16:30

ところ：豊橋市民センター（カリオンビル）大会議室（5F）

統一地方選挙が開催される都合上、6月に延期させていただきました第9回定期総会を以上の日程で開催させていただきます。

第8回総会で確認されました運動方針に基づき、自然エネルギーや里山保全の必要性を2014年の1年間学びながら中止を求める運動を進めてきました。若い層の参加も増え、運動の展開の幅が広がったと思っております。また、設楽ダム予定地上流左岸の地盤がダム建設に不適な第三紀層であることを明らかにしました。国の調査報告では、「ない」とされていた活断層が、われわれの調査で存在が明らかとなり、ダム建設中止に向けての新たな根拠ができました。訴訟の中で取り組んだ地質地盤問題が、裁判終了後に実を結び始めていると評価しています。裁判闘争を担うところに注いできた運動の力点を変えて、より広い層、とりわけ若い世代への働きかけを重視して、広報や取り組みの改善に努力してきました。次年度に向けては、地質地盤問題への取り組みを軸に、「ダム本体の建設は止める」との目標を掲げ、文字通り多数者がダム中止の意思表示をすることをめざしたいと思っております。

以上につきまして会員みなさまには活発に議論していただき本年度の運動を進めて参りたいと思っております。

ぜひご出席くださいますようお願いいたします。

代表 市野和夫



会場へのアクセス

豊橋駅より徒歩5分
(施設の駐車場はございません。車でのご来館の場合は近くの有料駐車場をご利用ください。)
〒440-0897 愛知県豊橋市松葉町二丁目63番地
電話(0532)56-5141



●前号からの活動報告

・2014、12月17日（水）「大規模な活断層発見」で市野代表、伊奈副代表記者会見（写真）会見にはNHKテレビ、名古屋テレビ、東あいち、中日、毎日、朝日、読売が参加しました。



翌日（1月18日）に掲載された記事から

■東愛知新聞

本宮山麓北東方向に活断層 建設中止を求める会が指摘

設楽ダムの建設中止を求める会（市野和夫会長）は17日、豊川市の本宮山麓に北東方向に延びる活断層の存在を指摘して、同市役所一宮総合支所で会見を開いた。北東の延長線上は設楽ダムの近傍にあると説明。存在の確認は地形学的にみた市民レベルの調査であることから、今後は事業主体の国交省に意見書などを提出し、専門家による検証を求めていくとした。

11月10日に市野会長が本宮山の林道で断層を確認。その後、延長線上にある平地の上長山から足山田両地区にかけて調べたところ、比較的新しい地層で段丘を切っていたことから、「活断層」と判断したという。本宮山の断層の露頭の確認地点は一宮登山道に沿う林道で、両側の岩盤の食い違いなどを確認。南東斜面で尾根も食い違っており、地形図からみて300メートルずれた「横ずれ断層」とした。平地における断層地形は、段丘に線上のくぼみとして追うことができると説明。中央構造線から分岐する断層と推定される、ともした。

市野会長は「国交省中部地方整備局は予定地付近に活断層はないと結論して事業を進めているが、前提は崩れた。ダム立地の基本的な地質地盤調査からやり直さなければならない」と訴えた。

（（勝村誠之）

■中日新聞愛知県版

豊川で活断層を発見 設楽ダム建設中止求める会

「設楽ダムの建設中止を求める会」の市野和夫代表らが十七日、豊川市内で会見し、市内の本宮山麓で活断層を発見したと発表した。設楽ダムの建設予定地（設楽町）まで達している可能性が高いとして、国土交通省中部地方整備局などに詳細な地質調査を求める。

市野代表によると、断層は十一月十日に発見。付近の尾根や平地の地形などを調べ、「活断層と断定した」としている。「地形図を検討した結果、断層を北東に延長すると設楽ダム予定地付近にまで達している可能性がある」と語った。

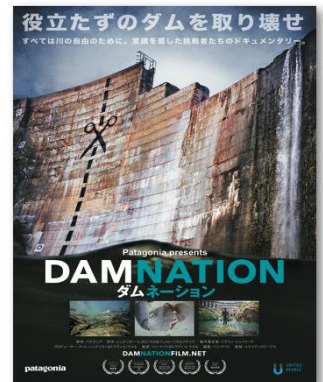
中部地整は、予定地付近に活断層はないと説明しているが、「予定地の基本的な地質・地盤調査からやり直すべきだ」と強調した。

・2015、1月11日 **DAMNATION全国一斉上映会に150人が！！**

2015年1月11日を川の日と銘打って行われたダムネーション全国自主上映会には当会も参加し、アイプラザ豊橋を会場として開催しました。

たくさんの方のご協力をいただき、150人の方が鑑賞されました。また翌日12日設楽で行われた上映会（主催：設楽の明日を考える会）には80人の方が鑑賞されたそうです。

「川に自由を取り戻せ！！」の理解を広げることができました。



・2015、2月13日

国交省中部地整に対して3度目の質問状を提出しました。（別紙）

2014年10月10日付で提出した公開質問状（2回目）の回答がないので、その回答の要請と追加の公開質問を提出しました。（4月20日現在中部地整からの回答無し）

・2015、3月15日 立木トラスト山の手入れをしました。

手入れに参加された会員Kさんから、そのときの感想と意見が届きましたのでご紹介します。

★★★

3月15日（日）設楽ダムの建設中止を求める会（共催：豊川流域自然学校）で立木トラスト山の木々に、古くなったオーナーの表示札の付け直しに2回目の参加。最初の立木トラストから5年が経過したとの事、厳しい自然の中に晒された札の中には傷みかけているものも相当数あり持ち帰った。

また仕事が増えるかも。（笑）

それにしても急な斜面に立つスギやヒノキに大勢の札が掛けられており、先輩方の努力と苦労を実感する。

付け替えが終わった後は、松戸の集落に移動し日当たりのよい田んぼの土手で昼食。一仕事した後のおにぎりは超美味しかった！今までこの土地に住んで守って来られた方々に感謝したい気持ちになった。こうした棚田がある美しい日本の風景も残しておきたいと願うものの昨今話題に上る「限界集落」といったところで生活を維持していくには厳しい現実があるのも事実で、自分に何ができるのか・・・

伊奈先生から、高齢になられた集落の方全員がダム建設に反対とうかがった。

そしてダムのコンクリートが張り付く予定の現地を見て周る。こんな小さい山にダムとは信じられなかった。



市野先生より本宮山から伸びる断層と思われる現地に移動して横ずれ断層の露頭を確認。断層というものが自分の頭の中でまだハッキリしない部分もあるが、少しずつ理解が深まってきた。

そしてネコギギが棲む松戸橋の工事現場を確認し一日を終えた。

ムダな危険なダム建設を阻止しなければ、という思いが強くなった。

（K・H）

★★★

写真：松戸で昼食を楽しむ参加者

●イベントのお知らせ

- 5月9日(土) シンポジウム in したら (主催: 設楽の明日を考える会) が開催されます。

どっこい! 生きてく設楽町~持続可能な地域社会の構築に向けて~

会場/奥三河総合センター 大ホール 13:30~16:30

入場無料 (詳しくは別紙を参照してください。)

パネリスト/嘉田由紀子 (前滋賀県知事) 今本博健 (京都大学名誉教授)

鈴木輝明 (名城大学特任教授) 市野和夫 (元愛知大学教授)



pixta.jp - 8638392

- 1、当会ではシンポジウム成功に向けて会場行バス (豊橋駅 11:30~豊川駅 12:00~会場) を出します。ぜひご利用ください。料金は一人往復 1,500 円 (片道利用の場合 1,000 円) です。豊橋の乗車場所は東口駅前の豊橋信用金庫前 豊川の乗車場所は JR 豊川駅東口です。
- 2、奥三河総合センターでの宿泊をご用意します。(宿泊料 1,400 円+夕食 1,080 円+朝食 630 円です。)

※上記 1, 2 についてご利用される方は事務局 (090-7698-3652/奥宮) に 5 月 3 日までに
お申し込みください。ホームページ <http://www.nodam.org/> からもお申し込みできます。

- 5月10日(日) 「第7回設楽を歩く」を開催します。(主催: 豊川流域自然学校、協賛: 当会)

設楽町役場駐車場 10:00 に集合して 田口~小松~鹿島山登山口~田口
を歩きます。(詳しくは別紙を参照ください。)

道中草花や地質の説明を受けながら歩きます。

5月9日のシンポジウムと合わせてご参加ください。

※この歩く会は当初 5月17日の予定から 5月10日に変更しました。



- 5月24日(日) 13:30~16:00

設楽ダム近辺の地質報告会を開催します。(主催: 設楽ダムの建設中止を求める会)

会場: 新城文化会館 104 会議室 参加費無料

会場へのアクセス:
新城市字下川 1 番地 1
0536-23-2122



設楽ダムの建設中止を求める会: <http://www.nodam.org/>

代表 市野和夫 ichinok7@mx3.tees.ne.jp

事務局 奥宮芳子 〒440-0069 豊橋市御園町 1-3 0532-54-7305 okumiya@xj.commufa.jp